

平成27年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	国際機関等拠出金			担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定) 年度	平成26年度	担当課室	厚生科学課健康危機管理・災害対策室		姫野 泰啓		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1 1-1 健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公衆衛生上の緊急事態やテロリズム等国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して迅速かつ適切に対処することを目的として、厚生労働省及び地域における健康危機管理体制を整備する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	世界健康安全保障イニシアティブの下にある局長級会合(世界健康安全保障行動グループ)において、健康危機情報を早期検知するために共同で開発した「早期警戒警報システム」の共同運営を行い、世界各地の健康危険情報を体系的・網羅的に収集し、各国共同で分析や対応を行う。								
実施方法	その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	6	-	-		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	6	0	0		
		執行額	-	-	6				
	執行率(%)	-	-	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績					
	定量的な目標を設定できない理由及び定性的な成果目標			世界各地の健康危険情報を早期に検知する。					
	早期警戒警報システムを整備するための経費であるため、定量的な目標を設定することは困難。								
	代替目標		代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績		健康危機情報を早期検知するために共同で開発した「早期警戒警報システム」の共同運営に係る拠出金の支出。	実績		-	-	1	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	健康危機情報を早期検知するために共同で開発した「早期警戒警報システム」の共同運営に係る拠出金の支出。		活動実績		-	-	1		
			当初見込み		-	-	1		
			達成度	%	-	-	100%		
単位当たりコスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:「執行額」/Y:「拠出先件数」			単位当たりコスト	千円	-	-	6,305	-
				計算式	X/Y	-	-	6百万円/1	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
			-	-					
	計		0	0					

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	世界各地の健康危険情報を収集するシステムを整備するための経費に係る国際機関への拠出金であり、国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して迅速かつ適切に対処することに通じるものであることから、国費を投入すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関への資金拠出は、主に国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国際機関を通じた国際貢献であり、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	日本を含む加盟各国で共同開発したシステムに対する拠出金支出であり、支出先以外の選定は不可能である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	早期警戒警報システムの整備に係る拠出金を支出することで、システムの整備が可能となり、世界各地の健康危険情報を早期に検知することができるようになった。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものである。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	世界各地の健康危険情報を体系的・網羅的に収集し、各国共同で分析や対応を行っている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	世界各地の健康危険情報をリアルタイムに収集するためのシステム整備に対し拠出金を支出することで、各国が共同で事案の分析や対応を行うことが可能となり、日本国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して、迅速かつ適切に対処することに通じるものであることから、重要であると評価できる。				
	改善の方向性	平成26年度限りの経費				
外部有識者の所見						
今年度限りの事業であり、適切な予算執行である。（井出）						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	本事業は当初予定の成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	本事業は、当初の目的を達成したため、当初の予定通り26年度をもって終了した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-059			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
6.3百万円



【拠出金】

A. 世界健康安全保障行動グループ
6.3百万円

〔 早期警戒警報システムの整備に係る経費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.世界健康安全保障行動グループ			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	拠出金	早期警戒警報システムの整備に係る経費	6.3			
	計		6.3	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界健康安全保障行動グループ	早期警戒警報システムの整備に係る経費	6.3	-	-